

ダイヤルMを廻せ！（1954）

DIAL M FOR MURDER

メディア 映画

ジャンル サスペンス ミステリー 犯罪

製作国 アメリカ

色彩 Color

時間 105分

初公開日 1954/10/05

公開情報 WB

【解説】

F・ノットが自身の舞台劇を脚色した、ヒッチコック・ミステリー。若く美しい妻マーゴ（ケリー）の不倫を知ったトニー（ミランド）は、彼女の殺害を企む。自分はマーゴの不倫相手マーク（カミングス）とパーティへ出かけ、その間に旧友の悪党レスゲートに妻を殺させようというのだ。だが計画は失敗、マーゴが逆にレスゲートをハサミで刺し殺してしまった。思わぬ展開に焦りを隠せないトニーは、実はマーゴが不倫をネタに脅迫されており、そのためにレスゲートを殺したというシナリオに変更する事にするのだが……。元が舞台劇だけに、ほとんどの舞台となるアパートの造りを上手く利用した構成は巧みで、鍵をはじめとする小道具の使い方もお見事。元々は3D（立体）映画として作られており、それゆえに画面から突出してくるような絵造りが至る所でされている（最たるものはやはりハサミであろう）が、日本の劇場では通常版が公開されただけである。ミランド好演、ケリーはいつもながら美しく、事件の“鍵”を見つける警部に扮したJ・ウィリアムズがいい味を出している。

【クレジット】

監督	アルフレッド・ヒッチコック	Alfred Hitchcock	
原作	フレデリック・ノット	Frederick Knott	
脚本	フレデリック・ノット	Frederick Knott	
撮影	ロバート・バークス	Robert Burks	
編集	ルディ・ファー	Rudi Fehr	
音楽	ディミトリ・ティオムキン	Dimitri Tiomkin	
出演	レイ・ミランド	Ray Milland	トニー・ウェンディス
	グレース・ケリー	Grace Kelly	マーゴ・ウェンディス
	ロバート・カミングス	Robert Cummings	マーク・ハリデイ
	アンソニー・ドーソン	Anthony Dawson	チャールズ・スワン
	ジョン・ウィリアムズ	John Williams	ハバード警部
	パトリック・アレン	Patrick Allen	ピアソン刑事
	レオ・ブリット	Leo Britt	
	ロビン・ヒューズ	Robin Hughes	